

■ イエス様のお墓

イエス様が十字架につけられた時、そばにはアリマタヤ出身のヨセフという人がいました。彼はイエス様に従っていた人で、善良で正しい人でした。ヨセフは、ユダヤの総督ピラトのところに行ってイエス様のからだを下げ渡してもらいました。からだをユダヤ人の埋葬の習慣に従って、亜麻布で包みました。そして、誰も葬られていない、岩に掘ったお墓に納めました。お墓の入り口は大きな石で塞がれ、番兵が番をしていました。

■ 御使いの知らせ

安息日の翌日の明け方早くに、ガリラヤから来た女性たちがイエス様のお墓に行きました。不思議なことに大きな石は転がされていて、お墓の中にはイエス様のからだが見当たりませんでした。からだを包んでいた亜麻布だけが置いてありました。

お墓のところには、白い衣を着た二人の御使いが立っていて、彼女たちに言いました。

「どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。イエス様はよみがえりました。まだガリラヤにおられた頃、主が話した事を思い出さない。」

彼女たちはイエス様の弟子たちのところに行き、このことを知らせました。

■ メッセージのポイント

ガリラヤからの女性たちの他に、イエス様のよみがえりを証言する弟子たちがいました。弟子たちはエルサレムに集まって、これらのことを話し合っています。その時、イエス様が彼らの真ん中に現れて言いました。

- (1) 「わたしの手やわたしの足を見なさい。わたしにさわって、よく見なさい。」イエス様は、傷のない完全なからだではなく、傷の痕をもったままよみがえりました。それは、弟子たちのための配慮です。
- (2) 「わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩編に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」イエス様は、聖書を悟らせるために弟子たちの心を開きました。
- (3) 「わたしは、わたしの父が約束された聖霊をあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」弟子たちはこの約束を覚えて、イエス様を信じ、待たなくてはなりません。それから、彼らはイエス様の証人となるのです。